

# 大橋川 通信



2004.4  
第5号

刊行/  
大橋川コミュニティセンター

## 水辺の風景が新しくなりました

特集

松江市水害発生 の 要因



松江市は過去に何度も大雨により浸水被害を被ってきました。では、松江市はどうして浸水しやすいのでしょうか。それには理由があります。ここでは、大橋川博士に登場願って、その原因を探ってみました。



## 大橋川河岸に国の合同庁舎完成

新しい景観と  
憩いの場が生まれました

大橋川に架かる「くにびき大橋」の北詰に松江地方合同庁舎が2月末に完成しました。庁舎は淡い緑色のガラスルーパーを使用し、大橋川との調和を考えた建物となっています。また、市民によるワークショップで「川辺を市民が散策するスペース」という意見を踏まえ、市民の憩いの場となるように、剣先川に面して階段やテラスからなる「水景広場」が整備されています。

堤防のない整備

「水景広場」のテラスの高さは大橋川改修に必要な堤防



大橋川改修に必要な堤防高

景観は時代と共に

新しい合同庁舎のある場所は平成4年までエンジンを造る工場があり、その後くにびきメッセの駐車場になっていました。時代と共に水辺の景観も変化し、この度の合同庁舎完成により現代的で新しい景観が生まれました。

昭和40年頃の様子



提供：マツエディーゼル株式会社



# 松江はどうして浸水しやすいの？ の巻

江太くん、お父さんとお母さんが昔の水害の話をしていただけ、松江市に水害ってくるのかな？



しょうこ  
松子ちゃん

そういえば、松子ちゃん大橋川改修という言葉聞いたことがあるけど何か関係あるのかな？



こうた  
江太くん

そうだ、こんな時は大橋川博士に聞いてみよう！

そうだよ、よく知ってるね。



大橋川 博士

博士、教えて欲しいんだけど、大橋川改修というのは、松江市を水害から守るためのものなの？



だけど、松江の水害は、お父さんやお母さんが子供の頃だと言っていたから、ずーっと昔だよ。

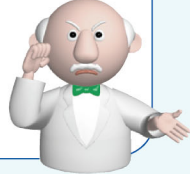
もう水害の心配は無くなったのかな？



そうだね。確かに松江市で一番近くに起こった大水害は昭和47年だから、30年以上も水害が無いのでそう思えるね。

だけど、昭和になってほしい50年間で5回浸水被害が起きているから、10年に1回の間隔ということになるね。

だから、昭和47年から30年以上も水害が発生してないのは不思議なくらいだよ。

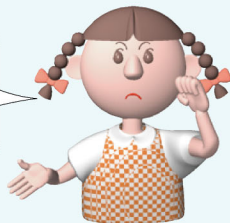


## 松江市水害の主な記録（昭和以降）

- 昭和 9年 9月
- 昭和18年 9月
- 昭和20年 9月
- 昭和39年 7月
- 昭和47年 7月

そうか、やはり水害はあるのか。

だけど、どうして松江は水害になるのかな？



うん、いい質問だね。

松江市が水害になる理由は2つ

1つ目は、松江市の地盤が低いこと

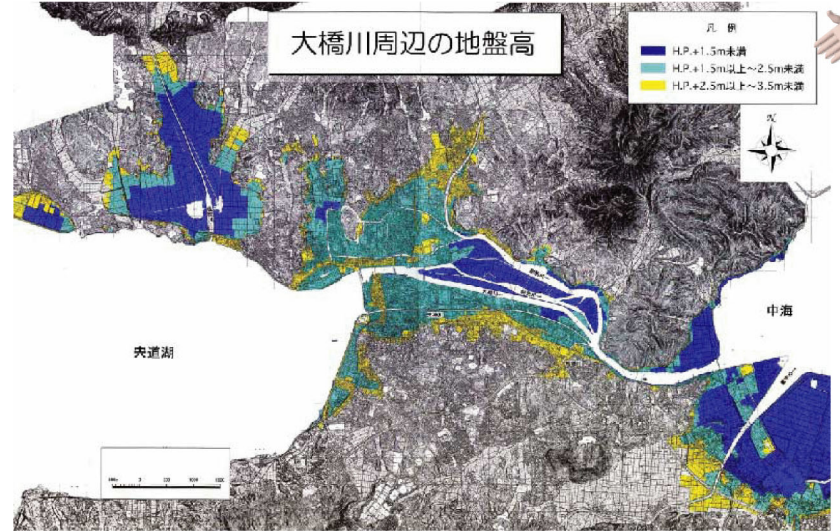
2つ目は、斐伊川から宍道湖に入ってくる水の量に対し大橋川から流れ出る量が少ないこと



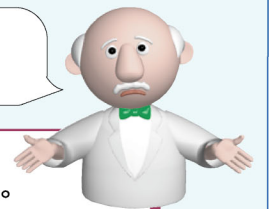
1つ目について、下の図面を見てごらん



昭和47年の災害では宍道湖の水位が西岸で2.5mまで上がったんだが、松江市街地の地盤の高さは、ほとんどがこれより低いんだよ

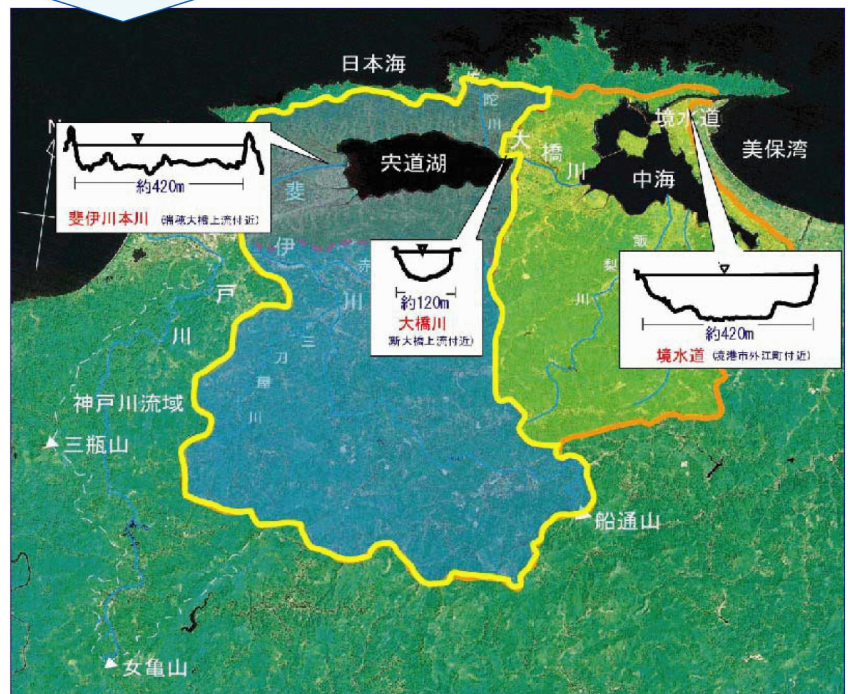


2つ目について、宍道湖や中海に流れ込む面積を比べてごらん



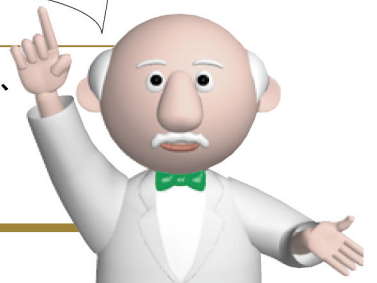
※ 宍道湖の流域面積は、中海の約2倍だね。それだけたくさんの水が宍道湖に流れ込むんだね。

※ 流域面積：降った雨が宍道湖に集まってくる範囲



次に川の断面を比べてごらん。斐伊川や境水道と比べて大橋川の断面が一番小さいことが分かるよね。

宍道湖へはたくさん入ってくるのに、大橋川からは少ししか出ないから、水位が上がって地盤の低いところに溢れてしまうんだね。





大雨が降った後の宍道湖・中海の水位の様子や、松江市の浸水の仕組みがわかるような模型を作ってみたんだ。

宍道湖と中海を風呂桶に、川は水道の蛇口に例えて説明しよう。

蛇口は水を流す量によって大きさを変えてあるんだ。

分かりやすいだろう。エヘン

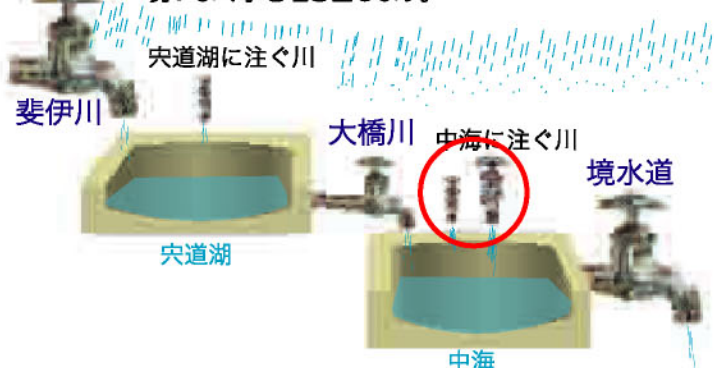
実験を始める前に、少し整理しておこう。

- 1) 宍道湖に入る斐伊川は、大きな蛇口
- 2) 大橋川は、小さな蛇口
- 3) 中海から出る境水道は、大きな蛇口
- 4) 宍道湖・中海に注ぐその他の川は、小さな蛇口

では、実験を始めよう

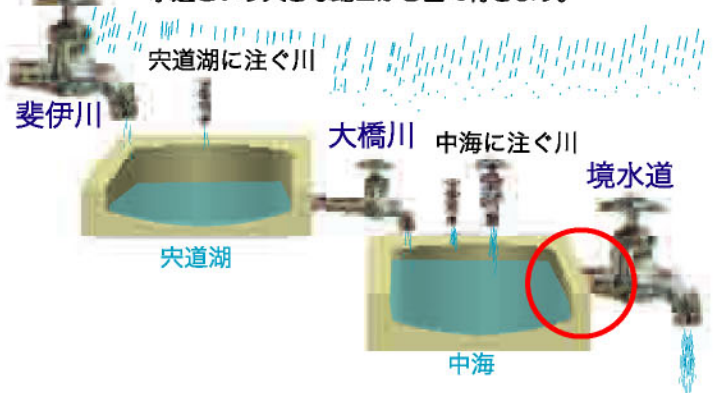
## 1 大雨が降り始めたよ

中海に注ぐ川は、その長さが短いので、すぐに蛇口から勢いよく水を吐き出します。



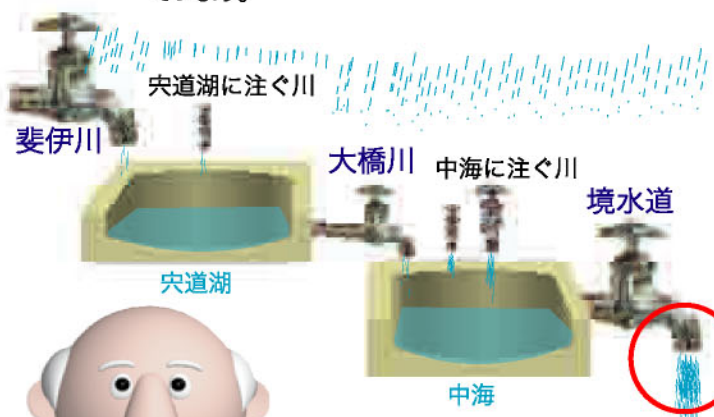
## 2 中海の水位はどうか？

中海の水位はいったん上がりますが、しばらくすると境水道という大きな蛇口から出て行きます。



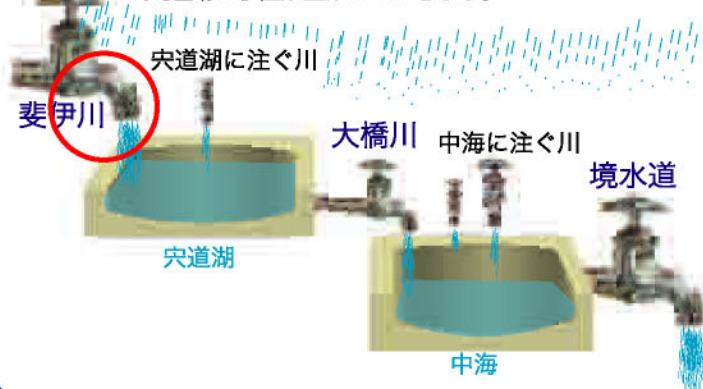
## 3 境水道はどうなっているかな？

大きな蛇口からどんどん水を吐き、中海の水位を下げています。



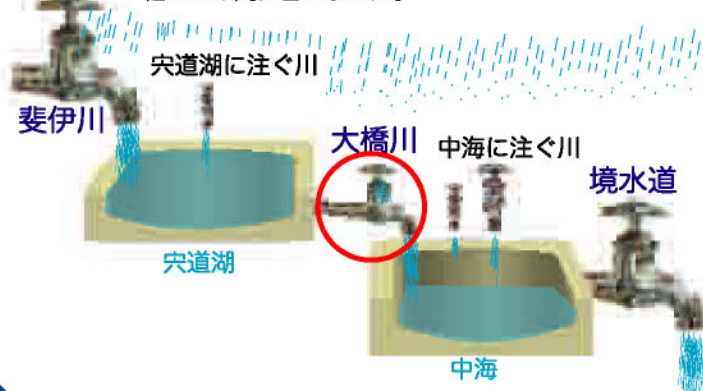
## 4 宍道湖の水位はどうか？

時間がたつと、斐伊川が上流からたくさん水を集め、宍道湖の水位が上がっていきます。



## 5 その時、大橋川はどうなっているかな？

大橋川蛇口も懸命に吐き出そうとしていますが、蛇口が細いため間に合いません。



## 6 そして、松江市は？

ついには、あふれ出してしまう、松江市などの地盤の低いところへ流れこみます。



当時のようす

実験は以上だ。

松江市がどうして浸水しやすいか、わかったかな？

うん わかったよ

博士 ありがとう





もっと詳しく知りたかったら  
「大橋川コミュニティーセンター」  
へ行ってごらん。

実際に水が流れる水理模型で  
確認することができるよ！

パソコンの画面で  
風呂桶の実験も見られるよ！



行ってみるね



## 大橋川の今昔

大橋川の見慣れた風景も時代と共に少しずつ姿を変えてきています。  
今号より「大橋川の今昔」としてコーナーを設け、大橋川沿川の移り変わりを紹介します。

汽笛の聞こえる  
湖畔の静かなたたずまい

宍道湖から大橋川への入り口付近、大橋南詰め  
の明治末期の写真です。

近代的な風景の現代と比べ、まだ湖岸道路はな  
く、建物のすぐ横は宍道湖に面し、2階建ての住  
宅が軒を連ねた静かな湖畔のたたずまいを醸し出  
しています。その前には合同汽船の棧橋があり、  
船が見えています。

左手の橋は、明治24年に建設された第15代松江  
大橋（現在は第17代）で、明治44年まで20年間使  
用されました。

明治23年に来松した小泉八雲は、この橋を「鉄  
柱を組んだ白い長い橋」と表現しています。松江  
市で初めての洋風の橋でした。

明治末期の大橋と魚町



提供：松江郷土館

現在の様子



### 大橋川「お宝写真」募集

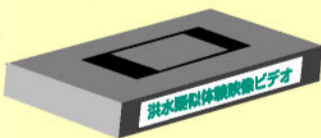


あなたがお持ちの「大橋川」に関する古  
い写真をお貸し下さい。このコーナー  
に掲載させていただきます。

※大橋川コミュニティーセンターまでご連絡下さい。

### 無料貸出開始

#### 「洪水擬似体験映像」 ビデオテープ



昭和47年7月洪水が今、再び起こったらどうなる！

・・・ご自宅では是非ご覧下さい

### 水位標識追加設置

#### 見つけましたか 「水位標識」

昭和47年7月洪水  
相当水位（標高2.5m）

これは、昭和47年7月12日洪水時の標高の最も水位  
を記録しています。（問合せ先 島根河川課 TEL.0852-21-6180）

昭和47年7月洪水相当水位標識を追加設置！

150カ所に27カ所追加設置しました

■お気軽にご来場、お問合せ下さい。

## 大橋川コミュニティーセンター

〒690-0841 松江市向島町134-1  
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623  
E-mail:comisen@mable.ne.jp

\*大橋川コミュニティーセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。



周辺案内図

